

千葉市感染症発生動向調査情報

2022年 第2週 (1/10-1/16) の発生は？

1 定点報告対象疾患(五類感染症)

報告のあった定点数		2週	1週	52週	51週
上段:患者数	小児科	16	14	16	15
下段:定点当たりの患者数	眼科	5	5	4	5
	インフルエンザ*	26	23	23	24
	基幹定点	1	1	1	1

「定点当たりの患者数」とは
報告患者数/報告定点数

定点	感染症名	千葉市					千葉県
		注意報	1/10-1/16	1/3-1/9	12/27-1/2	12/20-12/26	1/3-1/9
			2週	1週	52週	51週	1週
小児科	RSウイルス感染症		0	0	0	0	0
	咽頭結膜熱		3	0	0	1	19
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		9	8	7	11	58
	感染性胃腸炎	○	129	62	49	120	503
	水痘		3	0	0	2	20
	手足口病		1	7	3	4	18
	伝染性紅斑		1	0	0	0	1
	突発性発しん		6	5	2	8	32
	ヘルパンギーナ		0	0	0	2	1
	流行性耳下腺炎		0	0	0	0	1
インフル	インフルエンザ (高病原性鳥インフルエンザを除く)		0	0	0	0	1
眼科	急性出血性結膜炎		0	0	0	0	0
	流行性角結膜炎		0	0	0	0	6
基幹定点	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		0	0	0	0	0
	細菌性髄膜炎 (髄膜炎菌性髄膜炎を除く)		0	0	0	0	0
	マイコプラズマ肺炎		0	0	0	0	0
	無菌性髄膜炎		0	0	0	0	0
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)		0	0	0	0	0

★★:流行中 ★:やや流行中 ◎:増加 ○:やや増加 →:変化なし ↓:やや減少 ↓↓:減少

2 全数報告対象疾患: 1,329 例 ※ 新型コロナウイルス感染症1,325例は数のみ

病名	性	年齢層	診断(検査)方法	病名	性	年齢層	診断(検査)方法
結核	女性	50歳代	病原体等の検出	侵襲性肺炎球菌感染症	男性	70歳代	病原体の分離・同定
結核	女性	50歳代	病原体の分離・同定	新型コロナウイルス感染症	男女	0歳代-90歳代	病原体遺伝子の検出等
結核	女性	70歳代	病原体の分離・同定	-	-	-	-

*第2週は、結核3例(4)、侵襲性肺炎球菌感染症1例(1)、新型コロナウイルス感染症1,325例(1,614)の発生届があった。

※ ()内は2022年の累積件数。但し、累積件数は速報値であり、データが随時訂正されるため変化します。

定点当たり報告数 第2週のコメント

<感染性胃腸炎>前週より増加し8.06となった。過去10年の同時期と比べると多め。区別の発生状況は、若葉区(29.00)で流行発生警報開始基準値(20.00)を上回り最多で、同区の2歳で最も多く発生報告があった。

■ 「過去10年との比較グラフ」及び「区別の発生グラフ」はWebSiteでご覧いただけます。

- ・ 過去10年との比較グラフ

<https://www.city.chiba.jp/hokenfukushi/iryoeisei/khoken/kkagaku/idsc/documents/graph2022.pdf>

- ・ 区別の発生グラフ

https://www.city.chiba.jp/hokenfukushi/iryoeisei/khoken/kkagaku/idsc/documents/graph_ward2022.pdf